

研究ノート

三重県・岐阜県・愛知県におけるカクレクロスジヘビトンボの記録（ヘビトンボ目，ヘビトンボ科，クロスジヘビトンボ亜科）

下野谷 豊一

〒910-0004 福井県福井市宝永3-31-12

(2018年2月1日受付；2018年3月10日受理)

キーワード: ヘビトンボ科, 初記録, 三重県, 岐阜県, 愛知県

Toyokazu Shimonoya*. 2018. Records of *Parachauliodes inopinatus* (Megaloptera: Corydalidae: Chauliodinae) from Mie, Gifu and Aichi Prefectures, Central Honshu, Japan. Mie Prefectural Museum Research Bulletin, 4: 39-42.

Abstract

Parachauliodes inopinatus Shimonoya, 2015 is recorded from Mie, Gifu, and Aichi Prefectures, Central Honshu, Japan. These are the first records of the species from these prefectures.

*Corresponding author: 3-31-12, Houei, Fukui-shi, Fukui, 910-0004, Japan.

本州中部の福井県の個体をもとに近年記載されたカクレクロスジヘビトンボ *Parachauliodes inopinatus* Shimonoya, 2015は、翅を上げると10cm前後の大きさの、ヘビトンボ目ヘビトンボ科クロスジヘビトンボ亜科の一種である。この種は同じく本州に棲息する近縁二種（ヤマトクロスジヘビトンボ *Parachauliodes japonicus* (MacLachlan, 1867)；ツシマクロスジヘビトンボ *Parachauliodes continentalis* Weele, 1909）と外観や大きさが良く似ており、長らく見過ごされていた。

これら三種は前翅脈により識別できる（Fig.1）。Kuwayama（1962）は前翅のR脈とRs脈で囲まれた第二室からの分枝に着目、*P. japonicus*は一本だが、*P. continentalis*は通常二本分枝すると指摘した。この点に関しては*P. inopinatus*は通常二本分枝する。加えて*P. inopinatus*は他の二種と異なり、2Ap脈がほぼ直角に屈曲する（下野谷, 2015）。

*P. inopinatus*についてはこれまでに、福井県（下野谷,

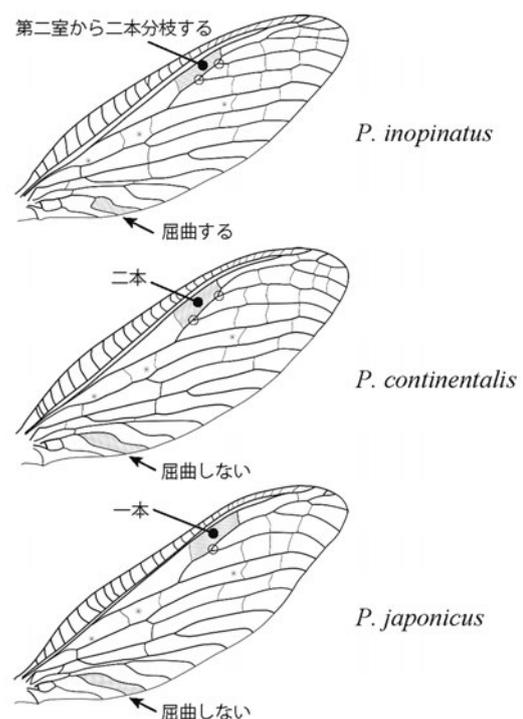


Fig. 1 三種の前翅脈における識別点.

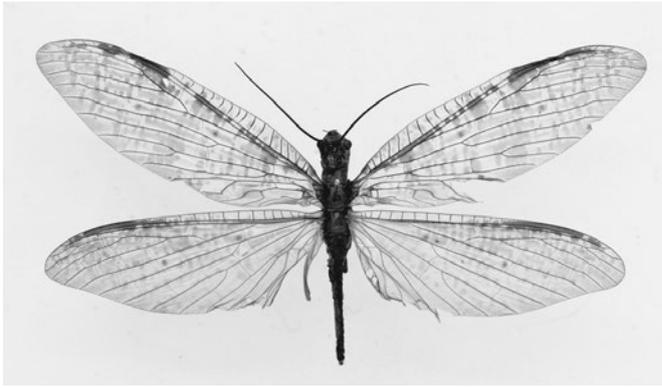


Fig. 2a *P. inopinatus* ♀, 三重郡菰野町湯の山温泉, 21.V.1962, 市橋甫採集, 前翅長 44mm 後翅長 39mm, 三重県総合博物館所蔵.



Fig. 2b 未展翅の状態三重県総合博物館収蔵庫に保管されていた.



Fig. 3a *P. inopinatus* ♀, 鈴鹿郡鈴峰村, 31.V.1962, 倉田篤採集, 前翅長 49mm 後翅長 43mm, 三重県総合博物館所蔵.

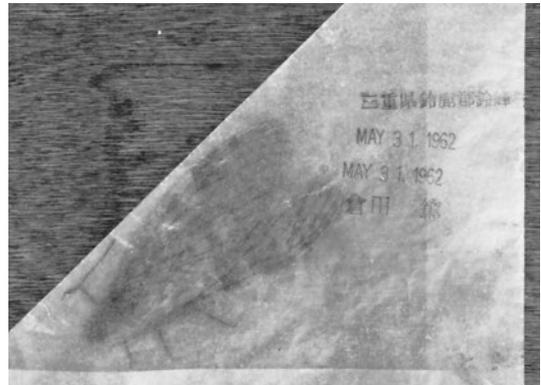


Fig. 3b 未展翅の状態三重県総合博物館収蔵庫に保管されていた.

2015), 京都府 (下野谷, 2017), 滋賀県 (河瀬・武田, 2016) で記録がある. このたび福井県・滋賀県に隣接する三県, 即ち, 本州中部の周伊勢湾地域の三重県・岐阜県・愛知県の標本を検討する機会を得, 本種の棲息を確認したので報告する. 検討した標本の中には, 過去に *P. japonicus* あるいは *P. continentalis* として記録されていたものが含まれる. 以降, 本稿に県別に示した記録はすべて *P. inopinatus* と同定したものである.

[三重県] 一志郡高岡村, 1♂, 16.VI.1954, 大川親雄; 三重郡菰野町湯の山温泉, 1♀, 21.V.1962, 市橋甫 (Fig. 2a, 2b); 鈴鹿郡鈴峰村, 1♀, 31.V.1962, 倉田篤 (Fig. 3a, 3b) (以上, 三重県総合博物館所蔵); 亀山市安坂山町石水溪, 1♂, 25.V.2014, 大島康宏 (個人蔵).

「三重県の脈翅目」(三輪・大川, 1958) には大川

親雄採集による高岡村での記録 (*P. japonicus*, 10.VI.1951) があるが, 今回検討した個体と採集者・採集地は同じだが採集年月日が異なる. 一方, 1962年採集の二個体はともに「鈴鹿山脈の昆虫」(山下ほか, 1963) に *P. japonicus* として記録されている.

一志郡高岡村は現在の津市一志町の一部 (其倉・高野・田尻・日置) である (一志町役場企画課編, 1981).

1962年当時の鈴峰村は現在の鈴鹿市の鈴峰地区 (小岐須・小社・長澤・伊船) 及び庄内地区 (西庄内・東庄内) に相当する (鈴鹿市教育委員会編, 1989).

山下ほか (1963) の図1には採集地名が黒点とともに記されている. 図に「鈴峰村」は無く, 代わりに村内の大字 (小岐須, 三畑, 原など) が記されている.

富田 (2008) は1962年鈴峰村の記録を文献引用する際, 学名を *P. japonicus* から *P. continentalis* に変え, 採集地を「原 (鈴峰村)」と大字を特定している. 採集者が「庄内小学校の倉田篤氏」と記述されていること

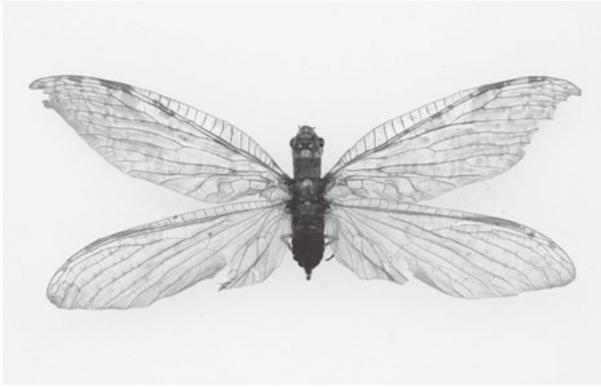


Fig. 4 *P. inopinatus* ♀, 関市小屋名百年公園, 24.V.1980, 安藤惇採集, 前翅長 47mm 後翅長 42mm, 岐阜県博物館所蔵.



Fig. 6 *P. inopinatus* ♀, 豊田市京ヶ峰, 12.VI.1993, 岩月学採集, 前翅長 39mm 後翅長 34mm, 豊田市自然観察の森所蔵.



Fig. 5 *P. inopinatus* ♀, 関市小屋名百年公園, 27.V.1980, 宮野伸也採集, 前翅長 41mm 後翅長 36mm, 岐阜県博物館所蔵.



Fig. 7 *P. inopinatus* ♂, 豊田市富田町, 13.VI.2002, 田中蕃採集, 前翅長 38mm 後翅長 34mm, 豊田市自然観察の森所蔵.

(山下ほか, 1963) に根拠を置いているのであろう。原村は現在の鈴鹿市東庄内町に相当, 町内に庄内小学校がある(地理調査所, 1956; 国土地理院, 1964; 伊藤, 2012)。

[岐阜県] 関市小屋名, 1 ♀, 28.V.1977, 木野村恭一; 関市小屋名百年公園, 1 ♀, 24.V.1980, 安藤惇 (Fig. 4); 関市小屋名百年公園, 1 ♀, 27.V.1980, 宮野伸也 (Fig. 5); 関市池尻, 1 ♂, 24.V.1982, Y. Shibata; 岐阜市芥見, 1 ♂, 17.V.1991, A. Miyano (以上, 岐阜県博物館所蔵)。

1980年採集の二個体はともに「岐阜県百年公園の昆虫相 III. 半翅目・膜翅目・その他」(宮野・安藤, 1984) に *P. continentalis* として記録されている。百年公園は岐阜県博物館の所在地であり, 標高35~115mの丘陵地(宮野・安藤, 1982), 近くを長良川の支流

の一つである津保川が流れる。

[愛知県] 豊田市京ヶ峰, 1 ♀, 12.VI.1993, 岩月学 (Fig. 6); 豊田市富田町(採集ラベル裏面に「富国橋」の筆記あり), 1 ♂, 13.VI.2002, 田中蕃 (Fig. 7); 豊田市東山町4丁目, 1 ♀, 27.V.2014, 大熊千晶; 豊田市上高町鷹岩 上高湿地, 1 ♂, 14.V.2017, 大熊千晶(以上, 豊田市自然観察の森所蔵)。

豊田市生物調査報告書(豊田市, 2016)の〈資料編〉に, 「豊田市自然観察の森自然環境調査報告書 平成7年3月」(豊田市, 1995)を文献引用する形式で, 豊田市高橋地区で採集された *P. continentalis* の記録がある。豊田市(2016)の〈分冊その2〉末尾の「豊田市50音別町名索引」に「京ヶ峰」は高橋地区とある。京ヶ峰は豊田市自然観察の森の住所である。

豊田市（1995）には学名・和名のみ列挙され、採集ラベル情報は記されていない。ただし今回、豊田市自然観察の森所蔵のクロスジヘビトンボ属標本を検討した限りにおいては、報告書が作成された1995年以前採集の京ヶ峰産は上記1993年採集個体が唯一であったことから、この文献記録の個体の可能性があると考える。

同じく豊田市（2016）の〈資料編〉に、「(仮)新富国橋建設工事に係る自然環境等調査報告書 平成15年3月」（豊田市，2003）を文献引用する形式で、豊田市富田町で採集された*P. japonicus*及び*P. continentalis*の記録がある。

豊田市（2003）には、採集ラベル情報は記されていないが、「資料4 昆虫類出現種目録」に2002年夏に豊田市富田町で*P. japonicus*及び*P. continentalis*の記録があり、「表6-5 昆虫類の調査実施日」の2002年夏の調査日として6月は13日と30日の2日間のみ記され、加えて同報告書冒頭の昆虫類の現地調査の代表者欄に田中蕃とあることから、上記2002年採集個体はこの調査時に得られたものと考えられる。

謝辞

末筆ながら、標本閲覧の機会をいただいた関係機関名及び氏名を銘記して謝意を表す。三重県総合博物館学芸員の大島康宏博士、岐阜県博物館学芸員の説田健一氏、公益財団法人日本野鳥の会 豊田市自然観察の森担当レンジャーの大熊千晶氏、同じく山下美夏氏。

豊田市の文献調査に際し豊田市役所の協力を得られた。三重県の旧鈴峰村の地理に関し三重県総合博物館学芸員の宇河雅之氏ならびに鈴鹿市立図書館より教示いただいた。厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 地理調査所. 1956. 龜山, 二万五千分一地形圖名古屋十一号龜山ノ二.
- 一志町役場企画課編. 1981. 一志町史上巻. 一志町役場, 1102pp.
- 伊藤好夫. 2012. 郷土誌庄内地区, 24pp.
- 河瀬直幹・武田滋. 2016. 滋賀県のカクレクロスジヘビトンボ新記録および滋賀県産ヘビトンボ目の記録. *Came虫*. AWF滋賀むしの会, 187: 6-9.
- 国土地理院. 1964. 1:25,000 龜山. 1:25,000地形図 名古屋11号龜山の2.

- Kuwayama, S., 1962, A revisional synopsis of the Neuroptera in Japan. *Pacific Insects*, 4: 325-412.
- 三輪勇四郎・大川親雄. 1958. 三重県の脈翅目. ひらくら, 2(18): 63-65.
- 宮野伸也・安藤惇. 1982. 岐阜県百年公園の昆虫相 I. 鱗翅目. 岐阜県博物館調査研究報告, 3:39-56.
- 宮野伸也・安藤惇. 1984. 岐阜県百年公園の昆虫相 III. 半翅目・膜翅目・その他. 岐阜県博物館調査研究報告, 5: 23-44.
- 下野谷豊一. 2015. 本州中部の福井県で発見されたクロスジヘビトンボの一新種. 福井市自然史博物館研究報告, 62: 43-52.
- 下野谷豊一. 2017. 温故知新～図鑑に載っていたカクレクロスジヘビトンボ. 月刊むし, 553: 18-21.
- 鈴鹿市教育委員会編. 1989. 鈴鹿市史第三巻. 鈴鹿市役所, 722pp.
- 富田靖男. 2008. 鈴鹿市のチャタテムシ目, ヘビトンボ目, アミメカゲロウ目およびシリアゲムシ目. 鈴鹿市の自然—鈴鹿市自然環境調査報告書. 鈴鹿市環境部環境政策課, pp.487-493.
- 豊田市. 1995. 豊田市自然観察の森自然環境調査報告書 平成7年3月, 81pp.
- 豊田市. 2003. (仮)新富国橋建設工事に係る自然環境等調査報告書 平成15年3月, 107pp.
- 豊田市. 2016. 豊田市生物調査報告書.
- 山下善平・大川親雄・的場孝郎・石田昇三・市橋甫・村井俊郎・成瀬善一郎・北川賢澄・灰谷輝雄・松浦誠・坂部元宏. 1963. 鈴鹿山脈の昆虫. 鈴鹿山脈自然科学調査報告書. 三重県自然科学研究会, pp.119-288, 24 pls.